

空港情報でおもてなし

ホテルミヤヒラ 離発着便モニター導入

南の美ら花ホテルミヤヒラ（親盛一功代表取締役社長）は5日午前、同行情報を配信するサービ

離発着便モニターと南の美ら花ホテルミヤヒラの親盛一功代表取締役社長（右）と株式会社キャブの苦田高志代表取締役社長（左）



スを開始した。ロビーに設置された65型のモニターに離発着情報や遅延情報など日本語と英語の2カ国語で15分間隔で最新情報に更新される。台風などで影響を受けやすい離島の観光客にとってはロビーで飛行機の状態を確認することができ、利便性やサービスの向上につながる。

システムを提供した株式会社キャブ（苦田高志代表取締役社長）は国交省の防犯情報配信サービスや旅館サイトの構築などのサービスを展開。今回ホテルと「あったらいいな」から始まり2年半の開発期間を経てシステムの導入に至った。

システムは国内空港から直接情報が得られない事情もあり、キャブが米国サイトのOAGフライ

トビューから情報提供の権利を得て、その情報をもとに画面をカスタマイズして配信する。同社によると、空港内ホテルなど一部を除いて国内のホテルでは導入第一号という。

親盛社長は「台風の季節に欠航など空港に行く前に確認できる。多くの

観光客や地元の方に役立ててほしい」と期待した。苦田社長は「このシステムを進化させ、石垣島にくるお客様に、より有益な情報を提供していきたい」と強調。今後はタクシー会社との連携やクルーズ船情報などとリンクさせた情報配信を検討する。

八重山毎日新聞

Yaeyama Mainichi

2019年(令和元年)

5月7日(火曜日)

発行所

株式会社 八重山毎日新聞

〒907-0004 沖縄県石垣市字登野城614

南の美ら花ホテルミヤヒラ

フライト情報を配信

空港外の宿泊施設で国内初

南の美ら花ホテルミヤヒラ(親盛一功代表取締役)は5日から、南ぬ島石垣空港を発着する航空各社全便の時刻表や運航状況などのフライト

情報を同ホテルの1階フロントロビーで配信している。空港外にある宿泊施設では国内初のサービス。

世界大手フライト情報プロバイダーのOAG社(本社・英国)がフライト情報を有償で提供し、その日に石垣空港を発着する国内・国際線全便の出発・到着時

刻や、欠航や遅延など運航状況を15分ごとに更新、65センチの液晶モニター1台で日本語と英語で表示する。

配信システムを構築した(株)キャブ(苦田高志代表取締役、本社・東京)によると、欧米では既に整備されており、宿泊施設には最寄り空港のフライト情報が無料で提供されており、日本では空港内にある数少ない施設のみにとどまっているという。

で、親盛代表は「台風の季節が来ると、搭乗便の確認や変更などのために急いでホテルから空港に向かわなければならぬ現状がある。島で少しでも有意義な時間を過ごしていただきたい」と述べ、苦田代表は「台風でもホテルで翌日の便に変更するなどゆっくりしていただきたい。これからはタクシー会社にもフライト情報の提供を提案できないか考えている」と期待した。

同ホテルのウェブ予約などを請け負う同社が、台風時に欠航便などの情報を宿泊客に提供できないかと相談を受け、国内初となるシステムを構築、第1号で導入した。

同日午前、ホテル1階フロントロビーで行われたオープニングセレモニー



国内初となる、宿泊施設でのフライト情報配信サービスをスタートさせた、南の美ら花ホテルミヤヒラの親盛一功代表(右)と(株)キャブの苦田高志代表=5日午前、同ホテル1階フロントロビー